

5年1組 社会科 学習指導略案

近江八幡市立武佐小学校
教諭 近野 洋平

1 単元名 「日本の貿易とこれからの工業生産」

2 本時のねらい

輸出品の変化を調べることにより、これまでの日本の工業は、貿易や運輸に支えられ、加工貿易という形で発達してきたことと、貿易によって世界の国々と結びつきがあることを関連づけて考えることができる。

3 本時の指導過程

○学習活動 ・児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
○前時の学習内容を振り返り、本時の学習計画を確認する。 日本は原料やエネルギー資源を多く輸入していることや、輸入品の中で機械類が増えたこと。	□前時のノート □グラフ 「日本の輸入品の内訳と移り変わり」 □図 「おもな・原料・エネルギー資源の輸入先」	◇前時のノートをもとに、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。 ◇児童から疑問が生まれるよう発問をする。
○輸出の必要性について考える。 ・日本は買ってばかりではお金がなくなる。 ・損をしている。 ・儲けるためには何か売らないといけない。		ものを売ってばかりではお金がなくなってしまう。どうすればいいだろう。
日本はどのようなものを輸出しているのだろうか。		☆ノートや発言内容から「日本の工業は、貿易や運輸によって支えられ、加工貿易という形で発達してきたことや貿易によって世界の国々と結びつきがあることを理解しているか」を評価している。【知一②】
○日本の工業がどのようなものを輸出しているのか調べる。 ・機械類・自動車が半分を占めている。 ・鉄鋼と繊維は減ってきている。 ・1970年と2016年の自動車を比較すると大きく増えている。	□グラフ 「日本の輸出品の内訳と移り変わり」	
○本当に外国に日本車があるのかICTを用いて調べる。		

<ul style="list-style-type: none"> ・日本の車のメーカーがある。 ・見たことのあるマークだ。 <p>○日本の工業が加工貿易によって発展してきたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安く原料を買って、製品にしてから売った ら儲かる。 ・自動車の値段は高い。 ・作ができる技術はすごい。 <p>○日本と貿易をしている国々を知るために 消費者である私たちの身の回りにあ る made in ○○を見つけて、どの国のも のがあるのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツにはベトナムと書いている。 ・中国が多い。 ・日本のものもある。 <p>○貿易のはたらきについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料がなかったらなにも作れない。 ・作ることが難しい国は製品を買うといい。 ・貿易ができなかつたら私たちの身の回り にあるものがなくなる。 <p>○本時のまとめをノートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出には機械類や自動車が多くた。 ・日本は原料を輸入し、製品にして輸出す る加工貿易で発展してきた。 ・貿易がなかったわたしの身の回りのもの がなくなっているかもしれない。 		<p>◇児童自らが気づけるよう發 問をする。</p> <p>原料と製品ではどちらの価値が高 いのだろうか。</p>
	<p>□図 「日本との貿易額 の多い国・地 域」</p> <p>□文章資料 「貿易のはたらき」</p>	<p>◇自分たちのくらしと貿易が関 係していることに気づけるよ うにする。</p> <p>◇事前に児童が興味の引きそ うな外国製製品を用意して おき、見つからなかった場合 提示する。</p>